

# 水道料金改定についてモデルケースで考察

資料 4

年度／モデルケース		1人世帯 φ13 10m <sup>3</sup>	3人世帯 φ20 20m <sup>3</sup>
令和5年度	月々	1,255	2,616
	年額	15,060	31,392

## ◎諮問 令和6年4月より平均17%の水道料金値上げ

年度／モデルケース		1人世帯 φ13 10m <sup>3</sup>	3人世帯 φ20 20m <sup>3</sup>
令和6年度 (R5対比117%)	月々	1,468	3,061
	年額	17,616	36,732
令和7年度 (R5対比117%)	月々	1,468	3,061
	年額	17,616	36,732
令和8年度 (R5対比117%)	月々	1,468	3,061
	年額	17,616	36,732
3年間の 値上げ額	月平均	<b>213</b>	<b>445</b>
	3年間総額	<b>7,668</b>	<b>16,020</b>

## ●諮問内容の メリット・デメリット

	メリット	デメリット
受益者		・一気に17%値上げの負担感
水道課		

## ●ケース1 段階的値上げ 令和6年度 10%UP 令和7年度 10%UP 令和8年度 20%UP

年度／モデルケース		1人世帯 φ13 10m <sup>3</sup>	3人世帯 φ20 20m <sup>3</sup>
令和6年度 (R5対比110%)	月々	1,380	2,878
	年額	16,560	34,536
令和7年度 (R5対比110%)	月々	1,380	2,878
	年額	16,560	34,536
令和8年度 (R5対比120%)	月々	1,506	3,140
	年額	18,072	37,680
3年間の 値上げ額	月平均	<b>167</b>	<b>349</b>
	3年間総額	<b>6,012</b>	<b>12,576</b>

※平均改定率 13.33%

## ●ケース1 諮問案と比較したメリット・デメリット

	メリット	デメリット
受益者	・値上げ開始時の負担軽減 ・令和9年度の料金改定時に適応しやすい	・令和8年度には大きな負担となる
水道課		・システム改修費増 ・事務の煩雑化(広報、許認可) ・料金収入の不足(1億9千3百万円) ・施設更新の滞り

## ●ケース2 段階的値上げ(料金総額確保)

年度／モデルケース		1人世帯 φ13 10m <sup>3</sup>	3人世帯 φ20 20m <sup>3</sup>
令和6年度 (R5対比110%)	月々	1,380	2,878
	年額	16,560	34,536
令和7年度 (R5対比120%)	月々	1,506	3,140
	年額	18,072	37,680
令和8年度 (R5対比120%)	月々	1,506	3,140
	年額	18,072	37,680
3年間の 値上げ額	月平均	<b>209</b>	<b>437</b>
	3年間総額	<b>7,524</b>	<b>15,720</b>

※平均改定率 16.66%

## ●ケース2 諮問案と比較したメリット・デメリット

	メリット	デメリット
受益者	・値上げ開始時の負担軽減 ・令和9年度の料金改定時に適応しやすい	・令和7年度には大きな負担となる ・下水道の料金値上げ(令和7年度 12%)と重なる
水道課	・料金収入確保	・システム改修費増 ・事務の煩雑化(広報、許認可) ・料金収入の不足(1千9百万円)